

トライボロジー会議予稿集の準備について

Authors Guide of Manuscript Preparation for JAST Tribology Conference

摩擦大・工（正）*潤滑 太郎 摩擦大・理（非）摩擦 梨代 摩耗工大（正）摩耗 竹刀

Taro Junkatsu*, Nashiyo Masatsu*, Shinai Mamou**

*Masatsu University, **Mamou Institute of Technology

1. はじめに

本ファイルは、トライボロジー会議 2017 秋 高松の予稿集原稿を Microsoft® Word（Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標です）で作成する場合のテンプレートです。ファイルに記述された注意点を確認の上、適宜変更を加えながらご利用ください。

2. 言語

日本語または英語でご記入ください。（どちらかで統一してください。混在は受け付けません。）

日本語の場合は講演題目、講演者、連名者、勤務先は英語を併記してください。

3. 原稿用紙

本テンプレートを使用して作成してください。

マージン : 上 20~25 mm, 下 20 mm

: 左右 20 mm

4. 原稿ページ数

2 ページ（標準）。

「トライボロジスト」に学術論文、技術論文、速報論文として投稿予定ありの場合は、4 ページ以上。

5. 本文の書き方

5.1 標準形式

52 字 57 行 1 段組み。

1 頁目は以下のようにしてください。

- 第 1 行：和文講演題目（12pt, ゴシック体太字）
- 第 2 行：英文講演題目（12pt, Times）
- 第 3 行：空行
- 第 4 行：和文講演者・連名者の勤務先略称・会員資格・氏名（9pt, ゴシック体）
 - ✓ 登壇者の氏名の前に*印、会員資格のない方は（非）を記入
 - ✓ 複数行にわたる場合には、順次繰り下げてください
- 第 5 行：英文講演者・連名者氏名（9pt, Times）
 - ✓ 複数行にわたる場合は、順次繰り下げてください
- 第 6 行：英文勤務先（9pt, Times）
 - ✓ 勤務先が複数ある場合は上記英文講演者・連名者に*, **を肩字として付して、カンマで区切って記入してください。
- 第 7 行：空行
- 第 8 行：本文（9pt）
 - ✓ 本文は段組みをせず 1 段で記述してください。
 - ✓ 見出しはゴシック体太字、本文は明朝体で記述してください。

5.2 式

式は数式エディタを使用して記入してください。文字の大きさは 9 ポイントにし、式番号を入力する場合は、右端に括弧（ ）を付けて番号を記入してください。

$$f(x) = a_0 + \sum_{n=1}^{\infty} \left(a_n \cos \frac{n\pi x}{L} + b_n \sin \frac{n\pi x}{L} \right) \quad (1)$$

$$\sin \alpha \pm \sin \beta = 2 \sin \frac{1}{2}(\alpha \pm \beta) \cos \frac{1}{2}(\alpha \mp \beta) \quad (2)$$

本文中で式を呼称する場合には、「式(1)」のように記入してください。また、本文中に数式を入れる場合は、 $(a-b)/(c+d)$ や $y=\exp(t/r)$ のように、一行に収まる表記にしてください。

5.3 図

図の大きさは横幅 80 mm を基準とし、最大横幅は 160 mm とします。図中の文字の大きさは 9 ポイント以上にしてください。用語は全て英語で、最初の文字は大文字とし、英数字かギリシャ文字の半角文字で表記してください。ただし、図を引用する場合、図中の用語は引用元のままとし、英語に変換する必要はありません。

グラフの場合、縦軸、横軸の説明は、それぞれの軸に沿って横書きとし、カンマで区切って単位をその後に続けてください。縦軸、横軸の説明は英文の最初の文字のみを大文字とします。

写真の場合は、鮮明なものを使用し、必要に応じて比較尺度（スケール）を付けてください。

図の割付けは、テキストボックスを用い、適切な位置に配置してください。Fig. 1、Fig.2 のテキストボックスを見本にしてください。

図には内容的に的確に表わす題目（図名）を英語で付けて、テキストボックス内の図の下に記入してください（9pt, Times）。図名が一行に収まる場合は、中央揃え（Fig. 1 の図名を参照）、二行以上になる場合は、先頭の文字の位置を合わせた左揃え（Fig. 2 の図名を参照）に設定してください。

本文中で図を呼称する場合、文の先頭では「Figure ○」、それ以外は「Fig. ○」としてください。

5.4 表

表の大きさは横幅 80 mm を基準とし、最大横幅は 160 mm とします。表中に用いる文字は全て英数字かギリシャ文字の半角文字で表記し、用語の最初の文字は大文字とします。文字の大きさは 9 ポイントとしてください。

表の割付けには図の場合と同様、テキストボックスを用い、適当な位置に配置してください。

表には内容的に的確に表わす題目（表名）を英語で付けて、表の上に記入してください（9pt, Times）。図名と同様、表名が一行に収まる場合は、中央揃え、二行以上の場合、先頭の文字の位置を合わせた左揃えに設定してください。

本文中で表を呼称する場合は、「Table ○」としてください。

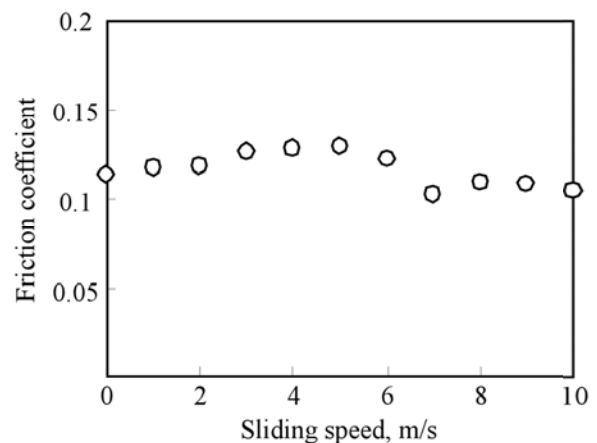


Fig. 1 Sample of figure

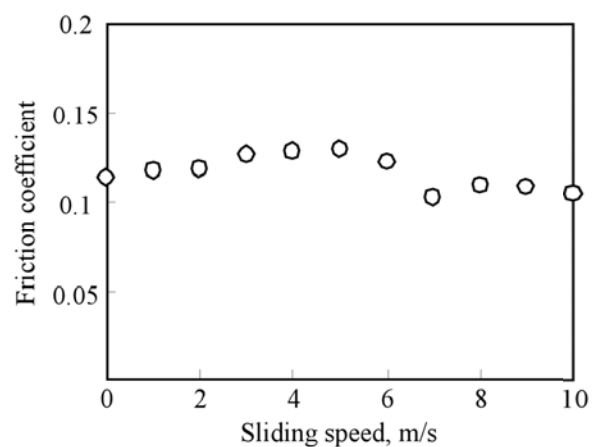


Fig. 2 An example of figure caption that is typed in more than 2 lines

Table 1 Sample of table

	Test 1	Test 2	Test 3	Test 4	Test 5	Test 6
Load, N	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0
Sliding speed, m/s	1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0
Viscosity, mPa·s	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	10.0

6. 予稿集原稿（PDF ファイル）の提出

完成した原稿を PDF 化してください。講演申込み時に自動返送されたメール本文にある受付番号・パスワードを用い、メール本文に示されたリンク先（講演情報編集フォーム URL）にログインし、期日までに PDF ファイルを提出してください。

7. おわりに

原稿受理後の訂正は認められません。そのまま予稿集作成工程に回します。

文献

- 堀・木村・田中：すべり軸受の潤滑特性，ジュンカツ，2，1 (1970) 16.
- A. B. Collin, C. Reynold & D. E. Fake: In Situ Studies of Wear Process, ASME J. Tribology, 120, 3 (1995) 513.
- 会田・今井：トライボロジーにおける実験計画法 第2版，摺永社 (1950) 703.